

第5次 隠岐の島町共同募金推進計画

令和7年度 ～ 令和11年度



令和7年4月

島根県共同募金会 隠岐の島町共同募金委員会

《 目 次 》

計画策定の趣旨 ・ 期間 ・ 構成 ・ 基本方針 ・ 重点目標	．．．．．	P 1
隠岐の島町における共同募金の状況	．．．．．	P 2
1. 全体の構成	．．．．．	P 3
2. 推進方針と年次別計画		
組 織（計画的な運営を）	．．．．．	P 4
〃 （より一層の意識改革と能力向上を図ろう）		
配 分（助成）（身近な課題の解決につなげよう）	．．．．．	P 4
〃 （助成は公正かつ透明に）		
広 報（地道に丁寧に情報発信しよう）	．．．．．	P 5
募 金（創意工夫のある募金活動を）	．．．．．	P 5
〃 （助成を受けた団体と協働しよう）		
〃 （応援団を募ろう）		
募金方法、用語解説	．．．．．	P 6

1. 計画策定の趣旨

- 市町村共同募金推進計画は、『共募十策 共募をよくする 10 の提言（平成 22 年 9 月 島根県共同募金会改訂推進検討委員会）』を具体的に推進するために島根県共同募金会が定めた「中期計画」に基づき、県内各市町村において策定が求められた計画です。
- 隠岐の島町においても平成 24 年度より検討を開始し、平成 25 年度に「推進計画」、平成 28 年度に「第 2 次推進計画」、令和元年度に「第 3 次推進計画」、令和 4 年度に「第 4 次推進計画」を策定しました。誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを目指して取り組んできました。
- 「第 4 次推進計画」は令和 6 年度を以てその期間を終えます。本会では、令和 6 年 3 月に島根県共同募金会で策定された「第 4 次中期計画」（以下、「中期計画」。）に沿って、地域の課題解決のため、助け合い、支え合えるまちづくりを推進するため、『第 5 次隠岐の島町共同募金推進計画（以下「本計画」。）を策定します。

2. 計画の期間

- 本計画の期間は、島根県共同募金会の中期計画に合わせ、令和 7 年度から令和 11 年度の 5 ヶ年とします。令和 11 年度には第 6 次推進計画への検討を行います。

3. 計画の構成

- 本計画を「基本計画」と位置づけ、年度毎に「事業計画」を作成し、町の状況や地域の課題に対応した募金運動、助成事業を実施します。

4. 基本方針

- 県本会の中期計画と同様に次の八策を基本方針とします。
 - ①より一層の意識改革と能力向上を図ろう
 - ②身近な課題の解決につなげよう
 - ③助成は公正かつ透明に
 - ④地道に丁寧な情報発信しよう
 - ⑤創意工夫ある募金活動を
 - ⑥助成を受けた団体と協働しよう
 - ⑦応援団を募ろう
 - ⑧計画的な運営を

5. 重点目標

- 住民の皆さんと共に地域課題を自分たちのこととして捉え、地縁組織やボランティア団体、助成配分団体等と協働して地域課題の解決に向けて取り組みます。
- 共同募金の趣旨や用途への理解を深めていただき、多くの住民の方に共感していただけるよう、丁寧な説明と広報に努めます。

隠岐の島町における共同募金の状況

(単位：円)

◆募金実績

種別	年度					R5-R1 差異
	R1	R2	R3	R4	R5	
戸別募金	3,105,875	2,862,242	2,675,360	2,760,971	2,624,067	▲ 481,808
学校募金	78,754	77,140	57,318	82,570	60,192	▲ 18,562
職域募金	167,691	141,530	175,247	191,423	165,350	▲ 2,341
法人募金	120,000	115,000	140,000	145,000	125,000	5,000
イベント募金	41,638	24,334	0	33,970	43,463	1,825
その他の募金	457,603	514,822	541,549	555,051	564,204	106,601
自動販売機募金	390,060	446,000	455,010	457,030	423,810	33,750
募金百貨店プロジェクト	0	0	0	0	0	0
協力店	56,606	47,456	60,364	62,346	100,149	43,543
個人・団体等	10,937	21,366	26,175	35,675	40,245	29,308
募金合計(a)	3,971,561	3,735,068	3,589,474	3,768,985	3,582,276	▲ 389,285
前年度繰越(b)	439,855	1,052,316	579,400	632,500	318,000	▲ 121,855

助成計画額(a+b)	4,411,416	4,787,384	4,168,874	4,401,485	3,900,276	▲ 511,140
------------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------

◆助成実績

団体		年度				
		R2	R3	R4	R5	R6
島根県共同募金会		1,294,000	1,294,000	1,294,000	1,147,000	
隠岐の島町共募	安心づくり	577,000	686,000	500,000	600,000	
	交流づくり	688,100	824,600	547,500	722,000	
	ふれあいサロン	800,000	1,110,000	1,140,000	1,140,000	
隠岐の島町社会福祉協議会			293,384	54,874	474,485	
実績合計(c)		3,359,100	4,207,984	3,536,374	4,083,485	
次年度繰越(a+b)-c		1,052,316	579,400	632,500	318,000	

○令和元年度に約397万円だった募金総額は令和5年度に358万円となり、約40万円減少しました。特に戸別募金の減少が目立つ一方で、その他の募金では増加しました。

○新型コロナウイルス感染症が落ち着いたことで令和4年度の募金総額が前年より増加しました。

○戸別募金で封筒の使用を継続し、令和2年度から寄付者の目にふれる広報誌やチラシ等から目安額を削除しました。併せて任意であることを記載し、より一層強制感の緩和に取り組みました。

○新型コロナウイルス感染症の流行により、多くの団体が活動中止を余儀なくされ、令和2年度から多額の繰越が続いています。

○いただいた募金を社協事業を通じて地域に広く還元できるよう、令和3年度より社協助成を実施しました。

県本会『共募八策』を基本方針として推進する「第4次中期計画」、さらには「第4次隠岐の島町共同募金推進計画」を踏まえ、推進方針を設定し、項目ごとに具体的対応策を掲げています。

1. 全体の構成

「共募八策」基本方針		県共募「第4次中期計画」	隠岐の島町「第5次推進計画」推進方針
組織 いかに活発な組織とするか	計画的な運営を	①計画の策定と進行管理・・・ ②長期的な運営についての検討	①第5次「推進計画」の進行管理 ②第6次「推進計画」の策定
	より一層の意識改革と能力向上を図ろう	①共同募金への理解促進とミッションの共有化・・・ ②多様な人材が参画した共同募金委員会の運営・・・済	①研修への積極的な参加による職員の専門性向上
配分(助成) いかにより効果のある配分を行うか	身近な課題の解決につなげよう	①地域福祉活動計画への共同募金の位置付けの明確化・・・済 ②ニーズキャッチ機能の充実 ③福祉ニーズの助成計画への反映 ④助成を必要とする団体の発掘 ⑤緊急時等に柔軟に対応できる助成の拡充 ⑥災害等準備金などの活用による被災者支援	①住みよい地域づくり推進プロジェクト事業の推進及び新しい助成制度の検討・実施
	助成は公正かつ透明に	②助成制度の見直し ②助成効果の評価、検証、・・・	①「助成事業報告書」の作成・公表 ②赤い羽根データベース「はねっと」の周知
広報 いかに市民の理解を得るか	地道に丁寧に情報発信しよう	①広報活動の強化・・・ ②寄附者や募金ボランティアとのコミュニケーション機会の増加・・・	①社協広報誌への共同募金記事の掲載 ②社協ホームページへの共同募金記事の掲載 ③募金ボランティア（社協委員）等への丁寧な説明
	創意工夫ある募金活動を	①戸別募金の減少幅縮小のための工夫・・・ ②用途を明確にしたテーマ募金の取り組み拡大 ③企業等との協働による法人募金・職域募金の拡大 ④寄附付き商品やインターネットを活用した募金の開発 ⑤年間を通じた寄附受入の強化 ⑥遺贈、相続寄附等の取り組み強化	①戸別募金額の減少を抑える工夫と強制感の緩和 ②さまざまな募金方法の周知・啓発 ③年間を通じた募金受入の強化
募金 いかに募金活動を進めるか	助成を受けた団体と協働しよう	①助成団体における助成明示の徹底及び成果報告の充実 ②助成団体の募金ボランティア等への協力促進	①被助成団体による広報の強化 ②募金運動実施団体への運動資材の貸し出し
	応援団を募ろう	応援団づくり・・・	①学校募金を通じた「福祉教育」の推進 ②地域等への共同募金啓発活動の推進

※済・・・計画策定以前より取り組まれており、現在も継続されているため掲載なし。

2. 推進方針と年次別計画

共募八策 基本方針		第5次「推進計画」推進方針	年次別計画（具体策） ※（）内は年度					
			第1年次 （令和7）	第2年次 （令和8）	第3年次 （令和9）	第4年次 （令和10）	第5年次 （令和11）	
組織	計画的な運営を	①第5次「推進計画」の進行管理	年度毎に「事業計画」を作成し、町内の状況等に対応した募金運動、助成事業を実施				第6次計画の進捗確認と翌年度への反映	
		②第6次「推進計画」の策定	—	—	—	—	第7次計画の策定	
	より一層の意識改革と能力向上を図ろう	①研修への積極的な参加による職員の専門性向上	赤い羽根全国ミーティング、事務局長担当者会議及び災害支援関係や地域福祉活動支援関係の研修会等への参加					
			目標値	年3回 				
配分（助成）	身近な課題の解決につながるよう	①住みよい地域づくり推進プロジェクト事業の推進及び新しい助成制度の検討・実施	ニーズに立脚した助成制度の充実					
			住みよい地域づくり推進プロジェクト事業の実施					—
			新しい助成事業の検討					新しい助成事業の実施
	助成は公正かつ透明に	①「助成事業報告書」の作成・公表	助成団体の実施内容や自己評価をまとめた『助成事業報告書』の作成とホームページでの公開					
②赤い羽根データベース「はねっと」の周知		募金の使い道について各都道府県や市町村ごとに掲載している「はねっと」を活用し、ホームページ及び社協広報誌で助成情報等について広く周知						

の

共募八策 基本方針		第4次「推進計画」推進方針	年次別計画（具体策） ※（ ）内は年度					
			第1年次 （令和7）	第2年次（令 和8）	第3年次 （令和9）	第4年次 （令和10）	第5年次 （令和11）	
広 報	地道に丁寧な 情報発信しよう	①社協広報誌への共同募金記事の掲載	社協通信への寄稿（募金実績、助成事業案内、助成実績等）					
			目標値	年4回寄稿				
		②社協ホームページへの共同募金記事の掲載	社協ホームページで公表している内容（募金チャンネル、実績、助成事業等）をタイムリーに更新					
		③募金ボランティア（社協委員）等への丁寧な説明	社協との連携による募金ボランティア（社協委員）説明会の開催、並びに自治会区区长等への文書による協力依頼					
			目標値	年3箇所				
募 金	創意工夫のある 募金活動を	①戸別募金額の減少を抑える工夫と強制感の緩和	社協広報誌や各種チラシ等で、助成団体から寄付者への感謝の気持ちを伝える「ありがとうメッセージ」や活動写真を十分に活用					
			寄付者の目にふれる広報誌等から目安額を削除					
			自治会区や団体へ募金箱やガチャガチャマシーン等を貸し出し					
		②さまざまな募金方法の周知・啓発	中央共同募金会並びに、島根県共同募金会が実施する募金方法への協力					
		③年間を通じた募金受入の強化	常設型募金箱の設置					
			目標値	年1団体				
	協働しよう た団体と 助成を受け	①被助成団体による広報の強化	被助成団体による助成表示の徹底と情報共有の促進					
②募金運動実施団体への運動資材の貸し出し		運動資材提供等の支援による募金運動実施団体の増						
		目標値	年2団体					
募ろう 応援団を	①学校募金を通じた「福祉教育」の推進	社協と連携し、小中学校で行う福祉教育に併せて共同募金のしくみや身近な場所で使われていることを周知						
	②地域等への共同募金啓発活動の推進	年間を通じて社協が実施する事業（各種研修会、サロン等）と連携し、地域・団体等を対象に啓発活動を実施						

募金方法（抜粋）

主な実施主体	募金方法	内容
中央共同募金会	オンライン寄付	インターネットによる募金。 スマホや携帯から気軽にでき、PayPay、J-Coin などによる手続きも可能。 募金する地域や用途を指定できる他、被災された住民へ支援を行うグループ等に対する支援金への指定もできる。
	遺贈・相続寄付	ご自身の財産や相続された財産などを遺言書等によりご寄付いただく募金。 希望する地域や、寄付の活用分野を指定することもできる。
島根県共同募金会	募金百貨店プロジェクト	企業・団体等に協力いただく募金方法。 商品等の売り上げの一部が募金になることで、購入した人が募金活動へ参加できるしくみ。企業・団体等の地域貢献にもなる。
	ガチャガチャ募金	ガチャガチャは、100円を入れると丸いカプセルが出てくる仕組みで、カプセルの中にはしまねっこの赤い羽根デザイン缶バッチが入っている。 ガチャガチャマシーンは島根県共同募金会よりレンタルが可能で、団体等へ貸し出すこともできる。
	赤い羽根自動販売機募金	自動販売機の飲料品1本につき売り上げの一部が募金になる募金方法。 各市町村委員会でも実施が可能。本会では平成22年度より実施している。
	古本みらいプロジェクト	団体や個人から古本やDVD、CDなどを提供いただき、買取協力店が買い取りそのお金を島根県共同募金会へ寄付し、児童養護施設や里親会等へ寄付する仕組み。

用語解説

用 語	説 明
募金ボランティア	<p>各世帯にお願いする戸別募金の取りまとめにご協力頂く方のことです。</p> <p>隠岐の島町社会福祉協議会では、隠岐の島町の嘱託員の方々を社協委員として委嘱し、下記の内容にご協力頂いています。隠岐の島町共同募金委員会では、社協委員を「募金ボランティア」として委嘱しています。</p> <p>【社協委員さんのしごと】（活動は無報酬となります。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉協議会会費の取りまとめ ・ 赤い羽根共同募金の募金活動 ・ 日本赤十字社会費の取りまとめ ・ 社協通信等の配布
運動資材	<p>本計画でいう運動資材とは、共同募金運動を盛り上げるためのグッズのことです。</p> <p>募金運動を実施する団体には、隠岐の島町共同募金委員会が所有する募金箱、のぼり旗、法被、ポスター等を貸し出します。</p>